【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2007-508125(P2007-508125A)
【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-013
【出願番号】特願2006-535670(P2006-535670)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　31/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　31/00

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月11日(2007.10.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者の背中を支えるハウジングと、
前記患者が前記ハウジングによって支えられているときに、前記患者の下方で前記ハウジングに配置されたモータと、
前記ハウジングに取り付けられ、前記患者に対して横方向に向いており、かつ前記ハウジングを幅方向に横切って伸びるチャネルを画成するチャネルビームと、
前記チャネルビームに架かり、前記モータに操作可能に取り付けられるとともに、前記チャネルビームに回転自在に取り付けられ、かつ前記モータによって回転させられることが可能なドライブスプールと、
前記ドライブスプールに取り付けられるとともに前記チャネル内で横向きに配置され、患者の胸部の周りに少なくとも部分的に伸びることができ、かつ前記ドライブスプールの回転で締め付けられて患者の胸部を圧迫するベルトと、
前記ベルトに取り付けられたスプラインと、
前記ドライブスプールの長さ方向に配置され、前記スプラインのサイズと寸法に近似するようなサイズと寸法を有するスロットとを備え、
前記スプラインが前記スロット内に配置されているときに、前記ベルトが前記ドライブスプールに取り付けられることを特徴とする胸部圧迫装置。
【請求項２】
ガイド板を更に備え、
前記ガイド板は、前記ドライブスプール、前記チャネルビーム、又は前記ドライブスプールと前記チャネルビームの双方で構成されているグループから選択される胸部圧迫装置の一構成要素に操作可能に取り付けられ、
前記スプラインが前記ドライブスプールスロットに挿入されるときに、前記ガイド板は前記スプラインをドライブスプールスロット内に固定させるように、前記ガイド板が配置されていることを特徴とする請求項１に記載の胸部圧迫装置。
【請求項３】
患者の背中を支えるハウジングと、
前記患者が前記ハウジングによって支えられているときに、前記患者の下方で前記ハウジングに配置されたモータと、

前記ハウジングに取り付けられ、前記患者に対して横方向に向いており、かつ前記ハウジングを幅方向に横切って伸びるチャネルを画成するチャネルビームと、
前記チャネルビームに架かり、前記モータに操作可能に取り付けられるとともに、前記チャネルビームに回転自在に取り付けられ、かつ前記モータによって回転させられることが可能なドライブスプールと、
前記ドライブスプールに取り付けられるとともに前記チャネル内で横向きに配置され、患者の胸部の周りに少なくとも部分的に伸びることができ、かつ前記ドライブスプールの回転で締め付けられて患者の胸部を圧迫するベルトと、
前記チャネルビームの第１端部に回転自在に取り付けられた第１スピンドルと、前記チャネルの第２端部に回転自在に取り付けられた第２スピンドルとを備え、
前記第２スピンドルは前記第１スピンドルに対向して配置されていることを特徴とする胸部圧迫装置。
【請求項４】
前記第１スピンドルと前記第２スピンドル間の距離は約１２インチ（約３０センチメートル）から約２２インチ（５６センチメートル）の範囲であることを特徴とする請求項３に記載の胸部圧迫装置。
【請求項５】
前記第１スピンドルと前記第２スピンドルは、前記ハウジングの縁部から距離を置いて挿入されていることを特徴とする請求項３に記載の胸部圧迫装置。
【請求項６】
患者の背中を支えるハウジングと、
前記患者が前記ハウジングによって支えられているときに、前記患者の下方で前記ハウジングに配置されたモータと、
前記ハウジングに取り付けられ、前記患者に対して横方向に向いており、かつ前記ハウジングを幅方向に横切って伸びるチャネルを画成するチャネルビームと、
前記チャネルビームに架かり、前記モータに操作可能に取り付けられるとともに、前記チャネルビームに回転自在に取り付けられ、かつ前記モータによって回転させられることが可能なドライブスプールと、
前記ドライブスプールに取り付けられるとともに前記チャネル内で横向きに配置され、患者の胸部の周りに少なくとも部分的に伸びることができ、かつ前記ドライブスプールの回転で締め付けられて患者の胸部を圧迫するベルトと、
前記ドライブスプールおよび前記チャネルビームで構成されるグループから選択される胸部圧迫装置の構成要素に操作可能に取り付けられたデテントとを備え、
前記胸部圧迫装置が使用中でないときに、前記スプール軸が回転不能であるように前記デテントが配置されていることを特徴とする胸部圧迫装置。
【請求項７】
前記ベルトに取り付けられたスプラインと、
前記ドライブスプールの長さ方向に沿って前記ドライブスプール内に配置されたスロットとを更に備え、前記スロットは前記スプラインのサイズと寸法に近似するようなサイズと寸法を有し、前記スプラインが前記スロット中に配置されているときに前記ベルトが前記ドライブスプールに取り付けられ、
前記スプラインが前記ドライブスプールスロットに挿入されるとき、前記スプール軸が回転可能となるように前記デテントが配置されていることを特徴とする請求項６に記載の胸部圧迫装置。